

# 第6学年 社会科（歴史的分野）学習指導案

## 1 小単元

「明治の国づくりを進めた人々」

## 2 小単元について

本単元は、学習指導要領第6学年の目標及び内容（2）「我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」このうち、ア「次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。」の（ケ）「黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、わが国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。」を受けて扱うものである。

前単元までに児童たちは、関ヶ原の戦いで徳川家康が勝利を収め、江戸幕府が誕生し、約260年続く平和な時代が訪れたことを学習する。また、そのために、参勤交代や、身分制度などの様々な政策によって、大名や市民を治め、鎖国によって、海外との交流を制限していたことを学習している。そして、江戸幕府が政策を行ったころ、歌舞伎や浮世絵などの町人を中心とした文化が栄え、国学や蘭学を学ぶものも現れ、国の発展に重要な役割を果たした人物が現れたことも学んでいる。また学習の取り組み方としては、歴史学習や社会科学学習の進め方についてより定着させたい。学習問題に対し予想を考える、資料から読み取る、読み取ったことから考察し、まとめを考えるという1時間の流れを継続して続けていく。さらに、単元を通した大きな見通しをもって、学習を進められるよう、1単元の学習の流れを考えたい。

本単元「明治の国づくりを進めた人々」は、明治維新をきっかけに日本が欧米の文化を取り入れ、近代化を進めていくという、世の中が大きく変化する時代になる。変化が大きい分、その変化に対して、「どうしてそのように大きな変化をしたのだろう。」「どのようにして江戸幕府の体制は終わったのだろう。」「近代化にむけてどのようなことが行われたのだろう。」といった課題を持ちやすい単元でもあると考える。

そこで本単元では、子供たちが主体的に学習に取り組むために、挙がってきた疑問や調べたいことを整理し、単元を通した学習問題や学習計画を作る。その学習問題、学習計画を意識した上で、学習を進めていくことで、「前時までに何がわかった。」「今日の時間は、こんなことを調べていく時間だ。」「ここまでわかったけれども、あと、ここがわかっていない。」といったような主体的に学習に取り組む姿勢が表れると考える。また、学習内容としては、それぞれの出来事で活躍する人物に注目させることで、様々な立場の人が欧米との差に危機感を感じ、それらの国に近付きたいという思いをもって政策を行ったことを気付かせたい。

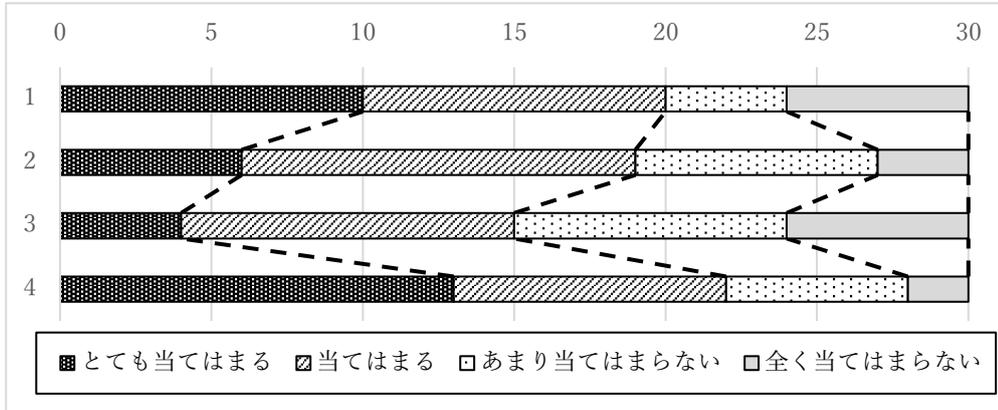
### 3 児童の実態

質問1：社会科の学習は楽しいですか？

質問2：国語の学習は楽しいですか？

質問3：算数の学習は楽しいですか？

質問4：理科の学習は楽しいですか？



楽しいと感じる理由	楽しくないと感じる理由
<p><b>【流れを学ぶ楽しさ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔のことにも物語を感じる。</li> <li>・その人がどのような人か知ることが楽しい。</li> <li>・自分が行けないところや時間のことが知れて楽しい。</li> </ul> <p><b>【教材としての楽しさ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史に興味がある。楽しい。</li> <li>・戦いの勝ち負けが好き。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から読み取る、意見を伝えることが苦手。</li> <li>・出来事や人物を覚えられない。</li> <li>・歴史（政治）に興味もてない。</li> </ul>

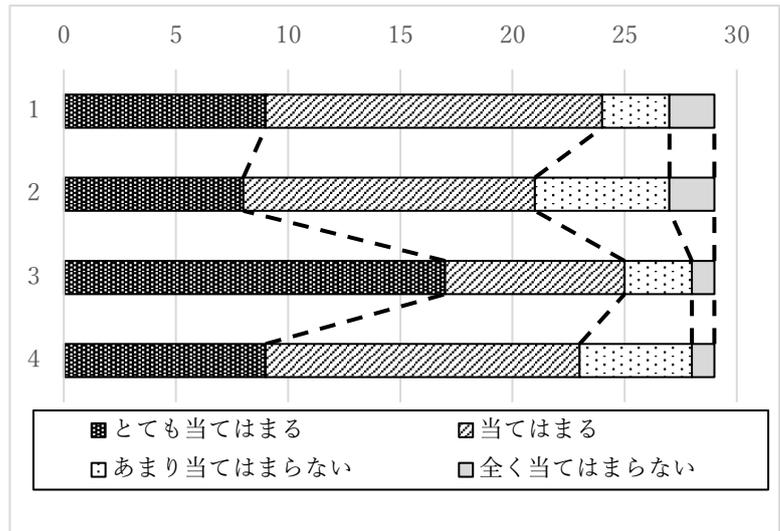
本学級の児童は比較的社会科活動に対して、楽しいと感じている児童が多い。だが、強く苦手意識がある児童も4教科の中でも多いことも実態として分かった。楽しいと感じる児童たちは、そもそも教材として歴史が好きであることもあるが、人物や出来事がなぜ起こったのか考えていくことに楽しみを見出している児童もあり、楽しいと感じている児童の中には学習の仕方が定着できている児童が現れていることも見られた。また、苦手意識がある児童はそもそも歴史に興味もてないことや覚える単元だという意識があることが原因に挙げられている。覚えるだけでなく、この出来事がなぜ起こったのか予想し、考える時間をとることで、引き続き、楽しい子供には充実した学習を、苦手意識がある子供にはその意識の払しょくをしていきたい。

質問 5 : 学習問題は解決したい問題になっている。

質問 6 : 予想を立てて調べる。

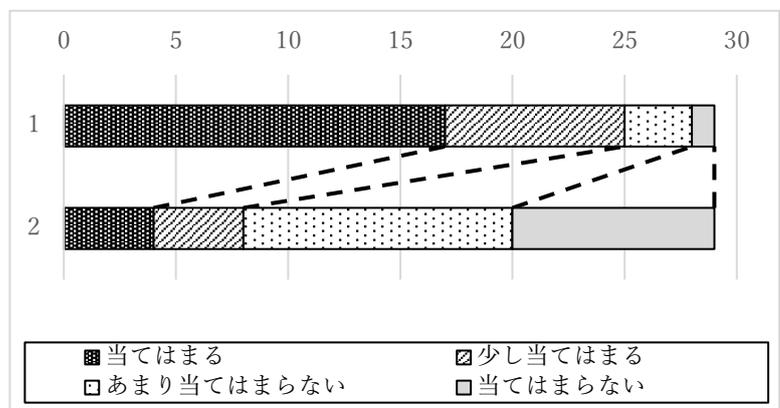
質問 7 : 写真や資料を読み取ることができる。

質問 8 : 調べたことを結び付けてまとめる。



質問 9 : 写真や資料を使って読み取ることができる。

質問 10 : 次の時間、調べたいことを意識している。



児童の学習の仕方に関する実態として、1時間の学習の流れ（学習問題を作る→予想を立てる→調べる→まとめる）は少しずつ定着をしている様子が見られる。また、質問9で見られるように資料から読み取る活動、当時の様子を表した絵などに表される人たちの姿や着ている物、やっていることなどから、その時代の特徴を考えたり、自分なりに考えをもったりする児童が見られる。しかし、その一方で、単元を通して考えたり、意欲を持ち続けて取り組んだりすることについては、できている児童はまだ少ない。1時間ごとのぶつ切りの流れではなく、単元を通して問題を解決しているという、単元の流れを感じて、一つ一つ問題を解決することを通して、学習問題を解決していく展開をし、子供たちがもっと調べたい、主体的に学習に臨めるようにしたい。そして、より社会科の学習内容を理解して、楽しいと思えるようにしたい。

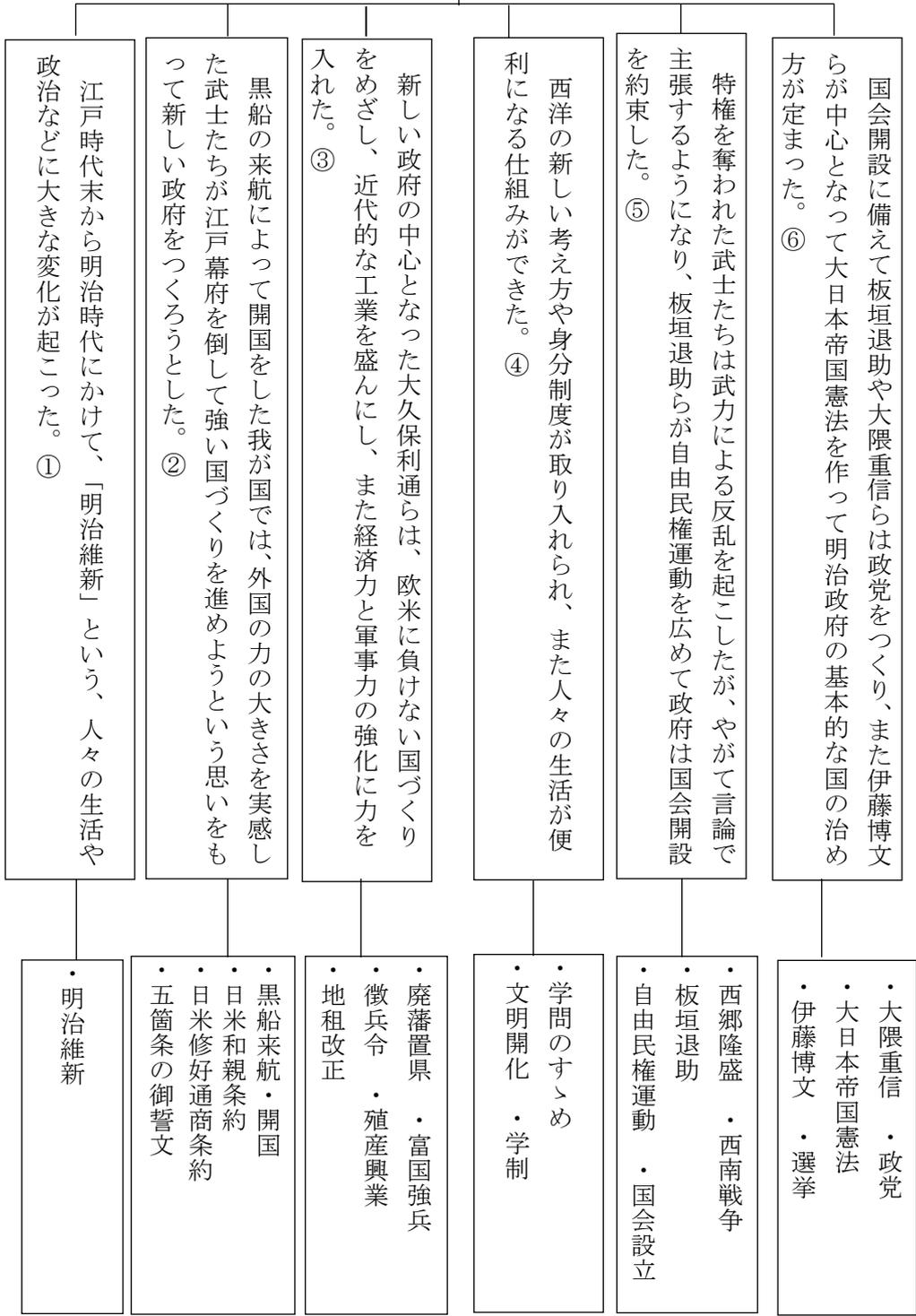
# 4 知識の構造図

中心概念

我が国は、明治維新をきっかけとして欧米文化を取り入れて近代化を進めた⑦

まとめる

具体的知識



用語・語句

つかむ → 調べる

## 5 小単元の目標

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、表現することを通して、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、わが国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

## 6 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを理解している。	① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに注目して、問いを見いだし、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて考え表現している。	① 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて、予想や学習問題を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追及し、解決しようとしている。
② 調べたことを年表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。	② 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを関連付けたり総合したりして、この頃の政治の仕組みを考え、適切に表現している。	

## 7 小単元の指導計画 (7時間扱い)

過程	時間	○主な学習活動と内容
つかむ	1	<p>○江戸時代末頃と明治時代初めの日本橋近くの様子などを比べ、20～30年ほどの短い間に社会全体に大きな変化が起きた背景について予想し、学習問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短い期間でなぜここまで大きな変化があったのだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     単元を貫く学習問題                      明治維新では、だれが、どのようにして世の中を変えたのだろう。                 </div> <p>○学習問題について予想し、学習計画を立てる。</p>
	1 (本時)	<p>○「ペリー上陸」の絵や欧米諸国との力の差を比べることで、日本が開国したことやその後の世の中の変化について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国との差を感じ、この差を埋めようと多くの人が考えたと思う。</li> <li>・実際に新しい政府が生まれ、今までのやり方を改めようとしている。</li> </ul>
調べる	1	<p>○新しい政府がどのように政治を進めたのか理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国に対抗するためには、軍の力や経済力が必要だと思う。</li> <li>・産業や軍力などを強化して、近代化が進んでいる。</li> </ul>
	1	<p>○文明開化の意味を明らかにし、人々の生活の変化を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代化によって市民の暮らしにはどんな変化があったのだろう。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文明開化によって様々な面で市民の生活に変化があった。</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○士族の反乱やその後の自由民権運動などの出来事やそこに関わった人たちの思いについて考える。</li> <li>・急な変化だから、困っていた人もいたと思う。</li> <li>・自由民権運動によって反乱が武力から言論に変わった。</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国会開設や大日本帝国憲法の特徴などを資料などから読み取り、それらがもたらした影響などについて考える。</li> <li>・国会が開設されて、今の日本に近い形になったに違いない。</li> <li>・国会や憲法はできたものの、まだ一部の人の意見しか汲まれていない。</li> </ul>
まとめる	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明治維新における様々な出来事、それにかかわる人々の思い、世の中への影響を整理し、まとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>単元のまとめ</p> <p>明治維新では、新しい日本を作ろうとした人たちが、富国強兵を進めたり、自由民権運動を広めたりして、近代化を進めた。</p> </div>

## 8 市教研社会科研究主題解明のための方策

市教研社会科研究主題

変貌する未来を切り拓く社会科学習～手応えの発見につながる『深い学び』の探求～

〈本年度主題解明のための方策〉

研究内容 1 「深い学び」に導く単元づくり

研究内容 2 「深い学び」に導く授業づくり

本小単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

### 研究内容 1 「深い学び」に導く単元づくり

○見通しをもって学習に取り組むための単元構成

本小単元では、江戸時代末から新しい政府ができ、世の中が大きく変化した時代と言える。子供たちには、この時代に起きた出来事だけでなく、短い期間で海外の力に追いつくために、多くの人々が思いをもって行動したことに気付かせたい。この変化の時代を主体的に学習に取り組むために、子供たちには、「きっとその時代の人たちはこんなことを考えていたのだろう。」「外国との差を埋めるためには、きっとこんなことをしたのだろう。」など、予想をもたせ、学習に臨ませたい。

そのために、単元の導入では、1860年ごろと1880年ごろの日本橋近くの様子を比較させる。通行人の服装や移動手段、また建物などから大きく様子が変わったこと。また洋風化したことがわかる。そして、20年の短い期間でここまで変わったことに注目させることで、大きな原因やそのように変えさせようとした誰かがいたことを予想できるようにする。その後の調べる時間では「誰がどのように世の中を変えたのか」が常に子供の頭の中にある状態、単元を貫いた学習問題として存在できるように常に、導入時で挙げた子供たちの考えをもとにして学習を進めている意識を持たせ進めていきたい。「まとめる」時間まで、一貫して同じ問いをもって学習を進めれば、子供たちは終

末で、「始めの予想や疑問が解決できた」と、納得ができ、「学習内容がわかった」と自信をもつことができる考える。

また、本小単元で学習する国会開設や自由民権運動のような内容は、導入時で子供から上がることは難しいとも考えられる。そういった内容は学習が進むにつれて、「世の中の急な変化に不満な人たちもいるかもしれない。」など、新たに見通しが生まれた児童たちの発言やふりかえりなどを見取り、追加して計画に盛り込むようにする。

### 研究内容2「深い学び」に導く授業づくり

#### ○見通しをもって、授業に参加できるための授業構成

一時間ずつの学習でも、その時間で学ぶものに対して、しっかりと向き合い、予想をもつ時間をもたせる。それにより、今日の学習では、導入で出てきたこの内容を学習すると意識することができる。また、一人一人が出来事に対して、どのようにしてこの事が起きたか考えをもつことで、調べる時間の意欲につながり、予想通りだった、予想と違っていた結果が理解につながると考える。

本時では、ペリー上陸時の様子や日本船とアメリカ船の大きさの比較を通して、日本と海外では、力の差が大きくあったこと、そして、その差を目の当たりにして、多くの人が危機感をもち、今までの国の在り方を改めるべきだと思いをもちたことに気付かせる。このような危機感を感じた人がいたに違いないという予想をもった状態で、その後の開国からの大政奉還、新政府による五箇条の御誓文の発表などの出来事と出会うことで、実際その時代にいた人たちも自分たちと同じような考えをもっていたとわかり、学習内容を理解することができる。このように予想という見通しをもたせ、どの時間も学習することで、より深く学ぶことができる。と考える。

## 9 本時の指導

### (1) 本時の目標

黒船来航によって、開国をしたことや、江戸幕府のやり方を改め、新しい政府が生まれる機運が高まったことを理解する。 【知識及び技能】

### (2) 本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
7	1 学習計画を振り返り、黒船来航時の様子を踏まえ、学習問題を立てる。 ・1時間目で鎖国は終わったと予想したけど、黒船が来たことがきっかけで、間違いなさそうだ。 ・当時の日本と比べて、アメリカの力はとても大きなものだと思った。	○掲示物から本時の学習内容を想起できるようにする。 ○黒船来航時の様子を提示することで、多くの人に強い衝撃を与えたことを想起させる。 ○日本とアメリカの船の規模の差を示すことで、海外との差が大きいことを実感させる。	学習計画の掲示物 黒船来航時の様子を表した絵 日本船と黒船の比較
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">             黒船の来航によって、世の中の人たちはどのようなことをしたのだろう。           </div>		

8	<p>2 ペリーの写真と日本人が書いた肖像画の比較から、日本人にとっての衝撃の強さを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎖国を続けた日本人にとって黒船やペリーは恐怖だったと思う。</li> </ul>		
10	<p>3 黒船来航を受け、日本人はどのような行動をとったか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国との力の差が大きいので、鎖国をやめるだろう。</li> <li>・外国に負けない力をつけないといけない。</li> <li>・今までのやり方を変えて、新しいものや文化をどんどん取り入れた。</li> </ul>	<p>○今まで挙がった世の中の人たちの思いを振り返ることで、外国の圧力だけでなく、その状況を変えたいと思う人がいたことを想起させる。</p> <p>○予想を全体共有し、学級全体で見通しを持った状態で、調べる活動ができるよう支援する。</p>	
10	<p>4 開国後どのように日本が変わったか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は条約を結んで鎖国が終わった。</li> <li>・外国と貿易が始まると、日本は物価が上昇した。</li> <li>*外国との差を埋めようと、大久保利通らを中心に新しい政府を作る運動を始めた。</li> <li>*この動きに押されて江戸幕府が終わった。</li> <li>・五箇条の御誓文が発表されて、今までのやり方を変えて、外国に追いつこうとしている。</li> </ul>	<p>○教科書の文章を項目ごとに色分けして線を引かせる。</p> <p>赤…開国後の世の中の変化 青…外国に対抗しようとした人物の行動</p> <p>○予想をもってすすんで調べるために、3で挙がった考えを踏まえて、調べるよう助言をする。</p> <p>○調べたことを世の中の変化と人物の行動で分けて板書し、調べたことをわかりやすく理解するために整理する。</p> <p>○五箇条の御誓文の内容を確かめることで、新しい政府が今までのやり方を変えようと動きだしたことに気付かせる。</p>	五箇条の御誓文
5	<p>黒船の来航によって、様々な人が世界との差を埋めるために行動し、新しい政府が生まれた。</p>		<p>◆黒船来航によって、開国をしたことや、江戸幕府のやり方を改め、新しい政府が生まれる機運が高まったことを理解する。 【知識及び技能】</p> <p>○学習問題を振り返らせ、4で調べた</p>

5	6 学習の振り返りをする。 ・外国との差が大きく驚いた。 ・外国との差を埋めるために、これから誰がどのようなことをするのか調べていきたい。	人物の行動が外国との差を埋めるために行われたことだと助言する。  ○学習を通して印象に残ったことや自分の考え、さらに調べたいことなどを振り返りに書くように助言する。 ○本時で挙げた振り返りは、次時の導入や学習計画の見直しに生かす。	
---	---	--	--

## 10 評価について

評価	評価の基準・例文
A	明治維新で行動した人物と起きた出来事を関連してまとめ、その行動が世界との差を埋めたことを理解している。 黒船の来航によって、大久保利通らが、 <u>世界との力の差を埋めるため、新しい政府を作る運動をした。</u>
B	明治維新で行動した人物と起きた出来事の関連を理解している。 黒船の来航によって、大久保利通らが、新しい政府を作る運動をした。